

グリーンコンシューマーのための買い物ガイド

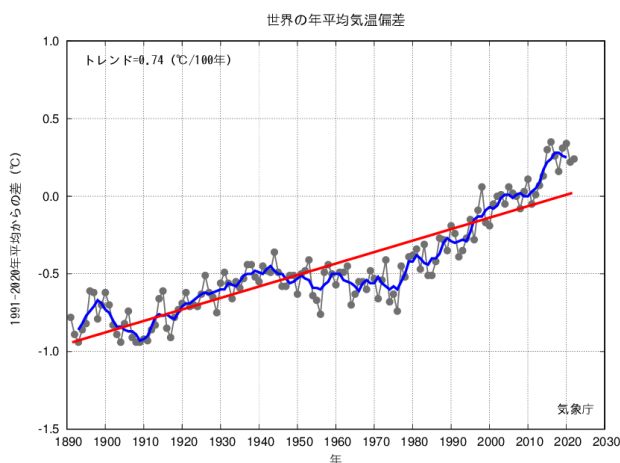
大阪版作成から21年 スーパーマーケット調査実施中！

プラスチック包装はどれだけ削減されているか？

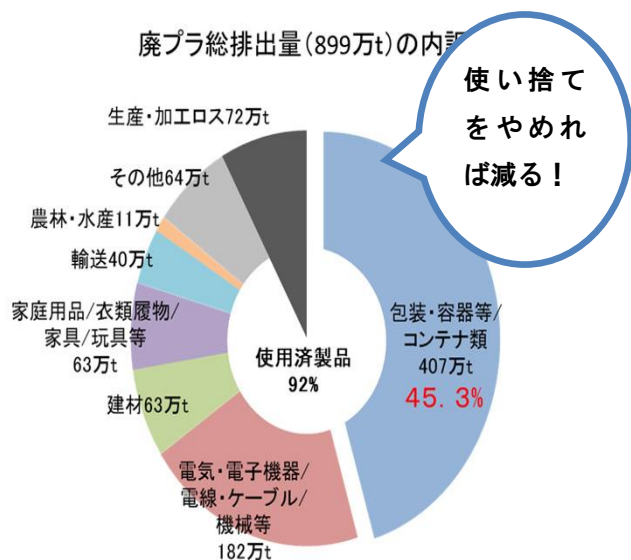
2002年、大阪府がごみゼロ・アクションの提案の公募で当会の「買い物ガイド」が最優秀賞に選ばれて、調査方法は、大阪府下の大型小売店舗約600軒に質問票を送付しました。そして110軒から回答を得て、特徴的な店舗へのヒアリングの結果をまとめました。

省資源対策として、82店舗（実施率75%）が①商品上のラップをなくす②パンなど個別包装から一括包装へ③トレーはレジ済み後回収など実施。使用済みプラ製品の回収は100店舗（実施率90%）、レジ袋の削減にむけて97店舗（88.2%）がポイント制と買い物袋持参呼びかけなど、良きパートナーとして市民、企業、行政が連携して行動していくことと、法的規制についての話し合いなど調査結果としてまとめました。市民として、買物の前に、必要なものか、リユースできるもの、リサイクルされている商品か、環境配慮商品を選ぶなどを呼びかけました。

その後、2006年に容器包装リサイクル法改正がされましたが、リデュース（資源の消費を減らす）・リユース（繰り返し使う）よりリサイクル（再資源化）が上位になりプラスチックの大量生産は右肩上がり、化石燃料によるCO2の排出は増加し続け、地球の気温上昇が続いています。



世界の年平均気温偏差の経年変化（1891～2022年）気象庁



出典：(一社)プラスチック循環利用協会

スーパーマーケット調査実施中！

今回の全国スーパーマーケット環境調査実行委員会（事務局はNPO環境市民）は、9月～11月が調査月間として、大阪ごみ減量推進会議も調査をすることになりました。大阪市内スーパー5店、八尾、河内長野を担当し、全体では約100店舗を調査しました。今回は、プラごみを減らすために、野菜等のはだか売りの種類、比率、量り売り等、省エネ対策も項目に入れて集計中です。